

ふっさし せんせい
福生市の先生が



えら 選んだ 100 冊 を

ふっさつ子が
よ 読みました!

ふっさし しょう ちゅうがくせい どくしょかつどう
～福生市の小・中学生の読書活動について～

◆保護者の皆様へ◆ 福生市立小・中学校では、福生市立図書館とも協力しながら、「福生市の先生が選んだ 100 冊」を活用して、読書活動を推進するための様々な取組を行いました。iPad を使ったアンケートの結果を基に、子どもたちがどのような本を読み、どのような感想をもったのか、紹介いたします。



児童・生徒の iPad から「福生市の先生が選んだ 100 冊」を見ることができるようになりました。



学校図書館に「福生市の先生が選んだ 100 冊」コーナーを設置しました。(写真は福生二中)



福生市立図書館のホームページでは、「福生市の先生が選んだ 100 冊」のうち、図書館で所蔵している本のリストを「テーマ別おすすめ資料」として公開しています。電話予約のほか、図書館窓口発行の利用者カードとパスワードをもっていただければ、ホームページからも予約できます。



令和5年3月 福生市教育委員会・小中学校長会

「福生市の先生が選んだ100冊」をふっさっ子が読み、感じたこと、考えたこと、伝えたいこと（抜粋）

No.	小学校低学年（第1学年～第2学年）向け
No.1	
1	「ぐりとぐら」 ◆さいごのばしょでぐりとぐらのおもしろかった。(一小1年生)
2	「パパ、お月さまとって!」 ◆お父さんがはしごをつくってくれたのが優しいと思った。(一小2年生)
3	「おいしいしょうくま」 ◆しょうくまが、食べものになるのが好きです。(五小1年生)
4	「でっぴりぽっぴり」 ◆足がおっきくて面白かった。(四小4年生)
5	「うどん対ラーメン」 ◆「うどんたいらーめん」のなまえがおもしろかった。(二小2年生)
No.2	
6	「かぶとおしランドセル」 ◆じゅぎょうちゅうにカブトムシランドセルが、うんちをすところや、カブトムシランドセルをしょったすがたが、このさまに見えておもしろかった。(七小2年生)
7	「ゴリラのパン屋さん」 ◆ゴリラがパンを作っていて面白かったし、ゴリラが作ったパンがすごくおいしそうだった。(六小1年生)
8	「アレクサンダーとぜんまいねずみ」 ◆この本を選んだのは僕の担任の先生で、すごく面白かったです。今度、妹に紹介しようと思います。(三小2年生)
No.3	
9	「あらしのよるに」 ◆オオカミとヤギは敵なのに、助け合っていて感動した。(五小3年生)
10	「ともだちや」 ◆オオカミは、狐のことを本当の友達と思い、その本当の友達に対して「金を取るのはあり得ない」と言ったのが印象的でした。(三小6年生)
11	「みどりいろのたね」 ◆実際に、メロン飴が種になったら良いなと思いました。(三小3年生)
12	「くれよんのくろくん」 ◆黒のクレヨンがやくにたつのがびっくりした。(六小2年生)
13	「5ひきのすてきなねずみ おんがくかいのよる」
14	「にじいろのさかなとおおくじら」 ◆スイミーみたいに面白くて、お気に入りです。(三小3年生)
15	「勇気」 ◆すどうせんせいがほんをよんでくれていいほんだな、とおもいました。(五小2年生)
16	「めのまどあけろ」 ◆せっけんさんがすべったところがおもしろかった。(五小1年生)
17	「おいしいのぼうけん」 ◆おいしいのネズミばあさんが押し入れの中の子もたちを怖がらせたのが面白かった。(六小1年生)
18	「てん」 ◆「私もこんなやりたいな。」って考えました。(三小2年生)
19	「ぼあぼあ、だいじょうぶ」 ◆認知症がひどくなくても家族みんながおばあちゃんを信じていたことが心に残りました。(六小5年生)
20	「どこからきた? おべんとう」
21	「みずいろのぞう」 ◆りんごのきがしゃべっていた。(七小1年生)
22	「ふらいばんじいさん」 ◆フライパンじいさんが、いろいろな所を旅をしているところが心に残った。(七小3年生)
23	「100円たんけん」 ◆ひゃっくんがつかわれるばめんがかんどうしました。(一小1年生)

No.	小学校中学年（第3学年～第4学年）向け
No.2	
24	「エルマーのぼうけん」 ◆エルマーは1人で冒険に行って、勇気のある子だなと思いました。(三小3年生)
No.2	
25	「まほうのじどうはんばい機」 ◆やっぱり人や物に頼ってばかりじゃだめなんだなと感じました。(二小4年生)
26	「ダレン・シャーン」 ◆ジオのサバイバルがハラハラしました。(一小3年生)
27	「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」 ◆貧しい大統領が貧しい国にお金を寄付して、世界を変えようとしているから感動した。(四小5年生)
28	「盲導犬クイルの一生」 ◆ビックリしました。(二小3年生)
29	「グリム童話」 ◆メルヘンなお話が好きだったので、紹介された時嬉しかったです。(三小6年生)
30	「ことばのかたち」 ◆言葉の形は見えないけど、相手がどう感じるかで言葉の形は変わるんだなと思いました。(二小4年生)
31	「電池が切れるまで」 ◆病氣と闘う子供たちが、意外と元気で「自分も頑張らなきゃ。」と気付かされました。(六小5年生)
32	「かあちゃん取扱説明書」 ◆取扱説明書の最後のページに面白いことが書かれているので他の人にも見てもらいたいです。(二小3年生)
33	「葉っぱのフレティ」 ◆死について、葉っぱの寿命に例えていて、奥深かった。(三小6年生)
34	「すみれ島」 ◆先生の本が1番僕の中では、面白かったです。これからはいい本を選んでください。(四小3年生)
35	「ルリユールおじさん」
36	「カレーライスを一から作る」 ◆普段たくさん食べる機会があるカレーを一(材料)から作って食べてみようという発想にとっても驚きました。そして生徒の方々の思いなどが細かく書かれていて日々、わたしたちが口にしているものが見方が変わった本でした。(二小2年生)
37	「バッテリー」 ◆バッテリーの二人が問題などにぶつかりながらも乗り越えていくところに感動した。(二小6年生)
38	「スーフとあめだま」
39	「きみの声がききたくて」
40	「なんだろう なんだろう」 ◆私が考えていた「なんだろう」が、この本を読んで知ることができた。(一小3年生)
41	「一さつのおくりもの」 ◆お気に入りの本を贈ったのが、「優しいなあ」と思いました。(六小3年生)
42	「先生、しゃべりたいわね」 ◆先生達はいつも子どもたちを笑顔にしてくれているので、いつかお礼をしたいと思っています。(二小3年生)
43	「霧のおこうのふしぎな町」 ◆お母さんの好きな本と、担任の先生の選んだ本が同じだった。(六小3年生)
44	「10歳のミッション」 ◆いろいろなミッションがあってやってみたら面白かった。(七小3年生)
45	「せいめいのれきし」
No.1	
46	「魔女の宅急便」 ◆小さい子でも読みやすい本で、映画がテレビなどでやっているから内容が分かりやすいと思いました。キキの性格が分かるような本だと私は思いました。(三小6年生)

No.	小学校高学年（第5学年～第6学年）向け
No.1	
47	「ぼくらの七日間戦争」 ◆中学生たちのすることが大胆で面白かったです。紹介してくれてありがとうございます。ありがとうございました。(一小6年生)
48	「ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。」 ◆学校に行きたいと言ったら「男以外はダメだ」と殺害されてしまうのがかわいそうだった。親がいなくて枕をお母さんがわりに、木の影をお父さんがわりにしているのが感動した。(六小6年生)
49	「東大教授がおしえるやばい日本史」 ◆僕は歴史が好きなのでこれは読みやすくて面白くて、これを選んだ先生ありがとうございます。(六小6年生)
50	「船乗りクマの冒険」
No.2	
51	「君の隣をたべたい」 ◆泣ける話で切ない話で大好きな小説なのでリストに載っていてすごく嬉しいです。(七小6年生)
52	「ラグビーが教えてくれること」 ◆ラグビーで得点を取ることで、ファールしないようにすることなど必要なことが書かれていた。(一五小5年生)
53	「モモ」 ◆時間の事を考えさせられる本だったのでとても印象に残っています。(一五小5年生)
54	「世界がもし100人の村だったら」 ◆この本を紹介してくれた先生、「世界にはいろいろな人がいるという大切さ」に気付かせてくれてありがとうございます。(三小5年生)
No.3	
55	「赤毛のアン」 ◆アンが自分の欠点を克服して成長するのが感動した。(三小6年生)
56	「こども六法」 ◆中学校や高校のブラック校則のことも書かれていて、自分達の身の回りのこと共感などがしやすかった。(三小6年生)
57	「思わず考えちゃう」 ◆自分が体験したどうでもいいことを書いているのが面白い。(三小3年生)
58	「きまぐれロボット」 ◆一つ一つの物語が面白く自分で想像してしまふから読んでいて楽しく感じられる。(四小6年生)
59	「そして五人がいなくなる」 ◆本を読んでいるとき頭の中でいろいろ考えました。(四小5年生)
60	「教室はまちがうところだ」 ◆授業をしている時、間違えても良いんだと勇気付けてくれる本だったので良いと思いました。(一五小5年生)
61	「ありがとう、さようなら」 ◆漢字にふりがながあって1年生でも楽しんで読めるところがよかったです。(五小6年生)
62	「なぜ? どうして? 科学のお話6年生」 ◆自分が分からないことをたくさん知れたし、あまり本は得意ではないけれど分かりやすくて、面白かった。(四小6年生)
63	「5000キロ逃げたアーメット」 ◆5000キロ逃げたというところが心に残った。(二小6年生)
64	「ふるさと、夏」
65	「星の王子さま」 ◆王子様が最後に肉体を捨て、魂だけ自分の星に戻っていく所に感動した。(五小6年生)
66	「ビルマの堅琴」 ◆悲しい時やおもしろい時もあるし、かっこいいこともあった。(六小4年生)
67	「武器より一冊の本をください」 ◆命をかけて勉強をしていて僕たちは普通に勉強できていて感謝します。(六小3年生)
68	「精霊の守り人」 ◆とてもよいと思った。(二小6年生)
69	「キミならきつと大丈夫」
70	「きみの友だち」

No.	中学校全学年向け
71	「風が強く吹いている」 ◆たった10人で箱根駅伝に出場し、6位になったことに感動した。(一中1年生)
72	「夜のピクニック」 ◆友達と学校行事で夜に歩く時にあるいろんな物語が面白かった。自分もそういう行事があったら楽しいだろうなと感じた。(一中3年生)
73	「野村ノート」 ◆ノムさんらしい本。(一中3年生)
74	「武士道シックスティーン」 ◆この作品の世界観などがとても良いと思いました。(一六小6年生)
75	「バツタを倒してアフリカへ」
76	「14歳からのお金の話」 ◆お金の大切さを知れた。(二中2年生)
77	「阪急電車」 ◆乗車から下車までの間にこんなに人との繋がりを感ぜられたらあたたかいなと思った。行きすりの縁という表現が凄く好き。(一中2年生)
78	「お探し物は図書室まで」 ◆フェルトをやりたいくなりました。(一中3年生)
79	「浜村浩の計算ノート」
80	「真夜中のパン屋さん」
81	「友だちってなんだらう?」 ◆友だちについて改めて深く知ることができた。(二中3年生)
82	「舟を編む」 ◆少し難しい本だったけれど、わかりやすく丁寧に書かれていておもしろかったです。(二中1年生)
83	「やさしい猫」 ◆猫が可愛かった。とてもいい本でした。(一中1年生)
84	「野球ノートに書いた甲子園」 ◆出てきた高校の部員は毎日欠かさず野球ノートを書いていて、それが練習メニューに活用されることもあってすごいと思った。(二中3年生)
No.2	
85	「ほくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」 ◆多様性や社会問題について学ぶことができ、考えさせられた。(二中2年生)
86	「賢者の贈り物」 ◆お互いのために行動するのが良かった。(二中3年生)
No.1	
87	「カラフル」 ◆一度死んだはずなのに、記憶を消してもう一度自分の人生を歩むという設定が面白くて好きでした。(二中2年生)
No.3	
88	「そして、パトンは渡された」 ◆母は偉大なと強く感じた。(一中3年生)
89	「半分、減らす。」
90	「ちくはく部品」
91	「二十一世紀に生きる君たちへ」
92	「琥珀の夏」
93	「星々の悲しみ」
94	「大切なものほど、そばにある。」 ◆大切なものほどそばにあるのが本当に改めて知れた。(三中1年生)
95	「ジュエル二の食卓」
96	「一瞬の風になれ」 ◆高校生の部活の青春物語で部活に一生懸命取り組むところが面白かった。(三中1年生)
97	「鹿の王」 ◆偽の親子だけど絆がだんだんと深まっていく感じに感動した。(二中3年生)
98	「まなの本棚」 ◆勉強を頑張って難関校に行っている人は違うなと思った。(二中2年生)
99	「一度読んだら絶対に忘れない世界史の教科書」 ◆私自身も歴史が好きであるため、とても楽しみながら読めました。(二中3年生)
100	「草原の国キルギスで勇者になった男」

※ それぞれのグループで読者数が多かった本3冊に No.1 No.2 No.3 を付けました。
 ※ 感想欄が「一」の本は感想を募集中です!

読書に関するアンケート結果

- ◆市内の小・中学生を対象に令和5年2月1日から2月22日まで実施し、2,753人から回答を得ました。
- ◆グラフ内の波線の下、「中学2年生（令和2年度）」は、「福生市子ども読書活動推進計画に関するアンケート調査」（令和2年7月実施）による値です。ただし、選択肢の表現は今回の調査（令和4年度）と少し異なります。

質問1 あなたは、本を読むことが好きですか。

（質問1の分析）

◆福生市全体で8割近い子どもたちが「本を読むことが好きだ」と回答

◆「本を読むことが好きだ」と回答した割合は、小学生に比べ、中学生の方が低い

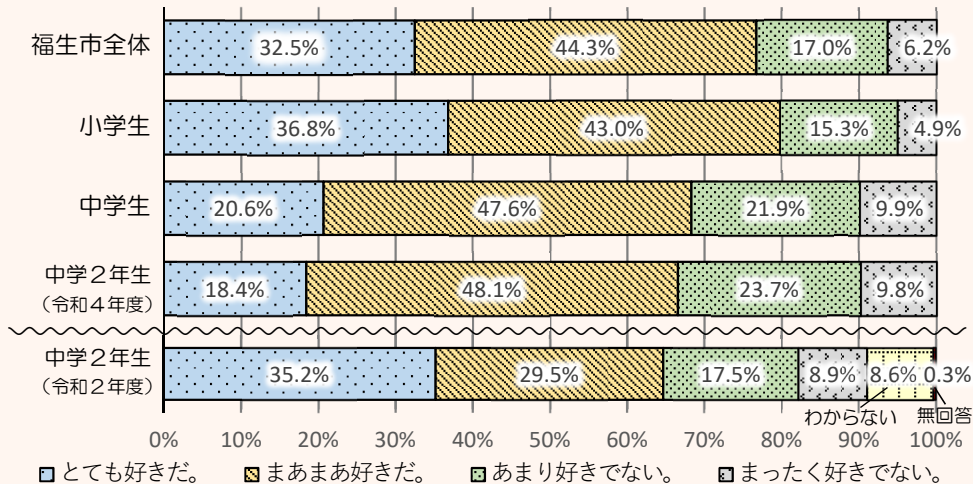
◆令和2年度と比べると、「とても好きだ」と回答した中学2年生の割合は約17%低下

（質問2の分析）

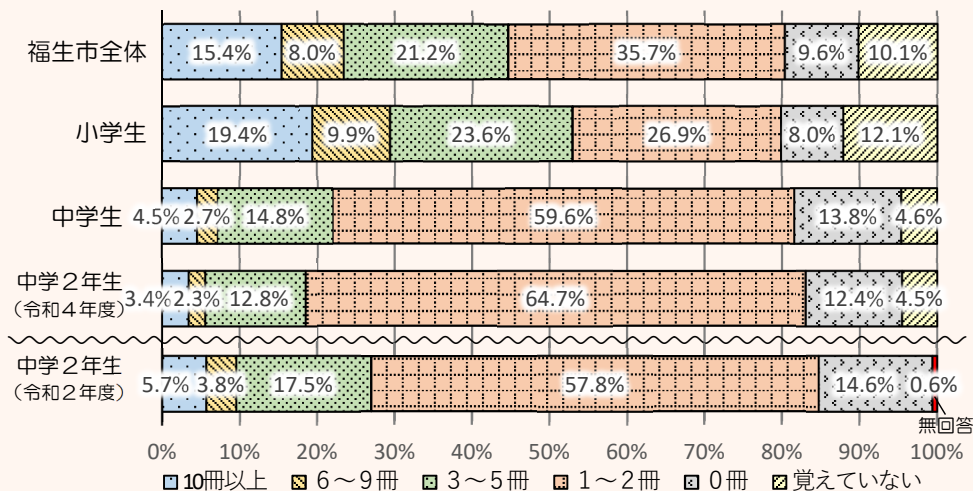
◆福生市全体で約8割の子どもたちが「1冊以上本を読んだ」と回答

◆令和2年度と比べると、「3冊以上本を読んだ」と回答した中学2年生の割合が低下した一方で、1冊も読んでいない0冊の割合（不読率）はやや低下（改善）

◆東京都教育委員会「子供読書活動推進に関する調査」の令和4年度集計結果（速報値）では、東京都全体の抽出校における中学2年生の不読率は10.3%



質問2 あなたは、最近1か月にどのくらい本を読みましたか。



質問3 あなたは、「福生市の先生が選んだ100冊」についてどう思いますか。

先生たちが本を通して大切なことを教えてくれるので、とても良いと思います。（二小4年生）

本をあまり読まない人が本を手取るきっかけとなっていると思う。（一中1年生）

先生の皆さん、本気で面白い本を考えてくれてありがとうございます。少し本に興味をもてた気がします。これからたくさん本を読んで僕が紹介する側になりたいです。（三小6年生）

先生によって本のジャンルが様々で見ていてとても楽しかったです。五小の先生や三中の先生がいてとても嬉しかったです。読んでみたい本が沢山あって図書館に行って探してみようと思いました。（三中2年生）

まとめ

- ◆様々な背景により、読書への意欲が低下しつつある中で、「福生市の先生が選んだ100冊」は子どもたちにおおむね好評で、この取組をきっかけに読書する姿も見受けられました。
- ◆令和6年1月から福生市において電子図書館が開始予定であることも踏まえ、学校と福生市立図書館が連携しながら、子どもたちの読書活動の推進を図ってまいります。
- ◆保護者の皆様にも「福生市の先生が選んだ100冊」で紹介された本をぜひ御覧いただき、お子様に読み聞かせたり、話題にしたりしていただくなど、御協力をお願いいたします。

